

## Advanced Side Reader おさえておきたい全身疾患のポイント 正誤表

(第1版第1刷)

頁	訂正箇所	誤	正
146	右段 下から1行目	タンパク結合性が高い薬物は 胎児に移行しやすい。	タンパク結合性が低い薬物は 胎児に移行しやすい。

### 補足解説

胎盤は、蛋白と結合していない遊離型薬物のみが通過する。蛋白結合率の低い薬剤は母体血中で遊離型薬物が多いために胎盤を通過して、胎児に移行しやすい。一方、蛋白結合率の高い薬剤は、胎盤を通過しにくいいため、胎児では低い濃度となる。妊娠中は薬物の蛋白結合が低下することから、妊娠中の薬剤選択には十分留意する必要がある。